

研究課題名「脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療後の腫瘍形成の頻度に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は1990年6月から2019年12月の間に下記研究機関にて脳動静脈奇形に対してガンマナイフ治療を施行された患者様です。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的:

脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療後の追跡調査データを集積し、本邦における脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療後の放射線誘発性腫瘍の発生頻度を調査いたします。その情報に基づいて、今後、ガンマナイフ治療を受けられる脳動静脈奇形の患者様に有用な情報を提供していくと同時に、本研究の結果を日本のみならず世界の同じ病の方のために医学界全体に発信することを考えています。

研究方法:

この研究は、名古屋大学医学部倫理委員会の承認を受け、愛媛県立中央病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている臨床情報、画像検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者様に新たにご負担いただくことはありません。各施設において患者様毎に調査票を作成し、小牧市民病院脳神経外科にある研究事務局に郵送され、集計されます。この研究のために使われる病気や身体の様子、生活の様子についての情報などは匿名化し、個人が特定されない状態で本研究終了後も適切に管理、保存します。それらは研究目的以外には一切使用しません。情報提供を行う共同研究機関は上述の通りです。

研究期間:実施承認日 ～ (西暦)2025年6月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:性別、治療時年齢、初回治療日、病変の場所、治療歴、ガンマナイフ治療データ、治療後の腫瘍形成の有無、経過観察期間、転帰等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究事務局(小牧市民病院脳神経外科)へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

小牧市民病院 脳神経外科 長谷川俊典
秋田県立循環器・脳せき髄センター 脳神経外科 河合秀哉
古川星陵病院 脳神経外科 川岸潤
総合南東北病院 脳神経外科 山本昌昭
千葉県循環器病センター 脳神経外科 青柳京子
東京大学 脳神経外科 長谷川洋敬

東京女子医科大学 脳神経外科 林基弘
築地神経科クリニック 脳神経外科 芹澤徹
NTT東日本関東病院 脳神経外科 河島真理子
横浜労災病院 脳神経外科 松永成生
相澤病院 脳神経外科 四方聖二
高井病院 脳神経外科 長友康
国立循環器病研究センター 脳神経外科 森久恵
大阪市立総合医療センター 脳神経外科 山中一浩
新須磨病院 脳神経外科 近藤威
高島病院 脳神経外科 岡本久代
大田記念病院 脳神経外科 中崎清之
愛媛県立中央病院 脳神経外科 古川浩次
永富脳神経外科病院 脳神経外科 井上琢哉
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 准教授 佐藤泰憲

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

愛媛県松山市春日町83

089-947-1111

愛媛県立中央病院

脳神経外科

研究責任者 古川 浩次

研究代表者:

小牧市民病院 脳神経外科 長谷川 俊典